

「集中治療室に熱傷にて入室した患者において気管切開の要因となる因子の検討」へのご協力をお願い

代表者	所属	救命救急センター	職名	センター長	氏名	森本 直樹
	所属	麻酔科	職名	部長	氏名	萩岡 信吾
	所属	総合医局	職名	研修医	氏名	村上 勇也
共同担当者	所属	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救命救急・災害医学講座				
	職名	准教授	氏名	内藤 宏道		
	所属	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 救命救急・災害医学講座				
	職名	教授	氏名	中尾 篤典		

1. 目的

集中治療室に熱傷にて入室した患者において、性別、熱傷の原因、熱傷創部に対して手術したかどうか、気管挿管・気管切開等の気道管理の有無・管理日数、気道熱傷の有無、頭頸部熱傷の有無、6日以内の早期気道管理離脱の有無、集中治療室在日数、死亡の有無、TBSA、BI、PBIなどの様々な要因情報を集計した。早期死亡患者を除外し、生存している重症熱傷患者において何が気管切開の **factor** になっているのかを検討した。

2. 対象と方法

対象は2012年の1月から2018年の12月の期間において、熱傷にて集中治療室に入室した患者症例。上記目的で記載した項目をロジスティック回帰分析にて分析した。

3. 研究期間

後ろ向き研究であり、対象となる症例について、診療録から既存の情報を取得する。研究対象施設は当院と岡山大学病院の2施設。

4. 調査票等

研究資料にはカルテから以下の情報を抽出し使用させていただきます。あなたの個人情報には削除後匿名化し、個人情報などが漏洩しないようにプライバシーの保護には最新の注意を払います。

- ・年齢、性別、家族歴、既往歴、嗜好、診察初見など
- ・検査データ、画像データ、手術記録、病理記録など
- ・治療内容、有害事象など

5. 情報の保護

調査により得られたデータを取り扱う際は、被検者の秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

個人情報には完全に秘匿されておりますのでご安心下さい。もし患者様自身やご家族の情報が研究に使用されることについてご了承頂けない場合には研究対象としないので下記までご連絡下さい。

津山中央病院 病院長 林 同輔
連絡先：電話 0868-21-8111（担当： 救急科 森本 直樹）